

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.18

「高輪会」は、電気通信工業高校、電波工業高校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

高輪会創立60周年記念式典を終えて

私は今年高輪会で行いました高輪会60周年記念式典の実行委員長を務めさせていただきました小津克己と申します。

今回の60周年記念式典は、実行委員の方々及び役員の皆様のおかげで何とか無事に終えることができほっとしているところです。

引き受けた当初は、右も左もわからず実行委員の方々には、かなり負担をかけてしまい申し訳なく感じています。

ただ、準備を進めていく中で行事の進行、講演などが決まり何とか形になって来ると次はどれだけの人来てもらえるか気になってきます。

ここでも多くの方々に力をお借りし同窓生の方々に記念式典への出席を働きかけました。その甲斐があって、総勢160名の同窓生、来賓、恩師の皆様に参加いただき、恩師を囲んで和やかな会となりました。

今回の記念式典では、私自身卒業後一度も会ったことが

ない同期の人たちと会う機会が持て非常に楽しい時間を持つことができました。

私のような50歳後半になりますと昔のことが懐かしく思え普段会えない級友たちに会いたい思うことも多くなります。

これを機に、卒業生の皆様にも懐かしい思い出を話す機会を持って頂けるような活動を続けていければ高輪会もますます発展していくのではないかと考えています。

今後の活動は、卒業生の皆様が高輪会により一層関心を持って頂けるよう頑張っていきたいと思えます。

最後に、高輪会創立60周年記念「高輪会史」発刊に際し多くの皆様からご厚志をいただきました。協賛広告、名刺広告合わせて、41社のご協力をいただきました。また、当日は6名の同窓生から寄付を頂戴しました。紙面を借り、お礼申し上げます。

今後ますますの発展に繋がります様、努める所存です。

第7回高輪会定期総会に向けて

第7回高輪会定期総会は2013年10月19日(土)に学校にて行います。今回、実行委員長を致します昭和52年卒業の広村直行です。

総会においては、議事をスムーズに進めるため委員会にて何度となく議案の検討を行ってきております。まず、議案については会員皆様の活発なるご審議を期待するところでありませぬ。

総会後はいつもの様に懇親会を行います。飲食の準備もさせていただいております。又、高輪会の行事や活動についてご意見がありましたら、是非この機会に提案いただきたいと思います。

同級生や部活動の友達をお誘いいただき、皆様のご参加をお待ちしております。

総会ご案内

● 日 時：2013年10月19日(土) 受付 13:30～
総会 14:00～
懇親会 14:40～

● 場 所：東海大学付属高輪台高等学校 食堂

● 会 費：5,000円

● 問い合わせ：

高輪会事務局(宍倉 修)

TEL・FAX：042-728-6480

E-mail: oshishi@ace.ocn.ne.jp

※出席される方のみ、同封のハガキにて10月12日迄にご投函お願いします。又、メール・FAXにて出席の受付をいたします。



同窓会を顧みて

高輪会会長 土方 啓司

「高輪会創立60周年記念式典」には恩師・ご来賓を始め多くの会員の皆様にご

参加をいただき、お陰様で盛大なうちに収めることが出来、誠に有難うございました。

思い起せば我々が母校を巣立つ時、諸資料の中には必ず「同窓会会則」が入っておりました。「高輪会会則」になってからは未だ17年ですが、皆様は当時の学校名同窓会、或いは東海同窓会会則として受け取られたことでしょうか。

その後、多くの皆さまは「名ばかりの同窓会」「同窓会の存在？」と忘却の彼方に行っていたのかも知れません。同窓会再建の動きは幾度かあったのですが昭和50年代後半には再建総会寸前にまで漕ぎつけたものの挫折してしまった苦い経験もありました。

最終チャレンジのつもりで、当時母校の事務長をされていた松原健次（昭33年卒）氏の声掛けで20名弱の同窓生が母校プレハブ校舎に集ったのは、今から19年程前のことでした。

現在のような立派な校舎ではなくプレハブ校舎の一室で、同窓会再建への熱い想いを語られたのをつい数週間前のことのように思い出します。その話し合いの中で再建同窓会の役員となること、会長には上島弘安（昭26年卒）氏が就任されることが決まったのです。

次に同窓会名を如何にするかが話題となり、通常は学校名に続き同窓会となるのであろうが我が校の場合、学校名が電波・電気通信から始まって現在の付属高輪台高校迄、中学校も含めると8校の名称が出て来る。学校名+同窓会では、どの校名を持って来るか、現在の学校名としても問題が残る。

諸々議論の結果、我々卒業生は、この高輪の地で青春時代を過ごしたことは共通しているので、高輪の地の同窓会「高輪会」としたらと言うことになった。が、高輪会と言う名の同窓会はありそうなので調べる必要があるとなった。後日、調査の結果「高輪会」と言う名の同窓会はないことが報告された。但し、隣の通信工学校現在の短期大学が我々と同じような歴史を持っており、同窓会は平仮名で「たかなわ会」と称していることも判った。

このような訳で我々同窓会は漢字の「高輪会」とすることにし、今後発行する会報「高輪会会報」の題名下に各校の名称を入れ全8校の卒業生の会であることを周知して行くことになった。これ等の結果1995（平成7）年に名称も「東海同窓会」改め「高輪会」として第一回総会が開かれ今日に至ったのであります。

学校の歴史は70年を超えていますが同窓会の歴史は60年を超えたところです。昨年は同窓会創立60周年記念式典を催し160名を超える皆様に参加をいただき誠に有難うございました。

母校は太平洋戦争末期の中、同窓会も含めると戦後の混乱期を乗り越えて来たのです。その歴史を後世に伝えるべく記念誌「高輪会史」を刊行し、記念式典ご参加の皆様にお渡しすることも出来ました。母校・高輪会共に一世紀に向って益々発展して行くべく、日々の積み重ねを研鑽して行く所存であります。

高輪会会員の皆様からのご支援・ご鞭撻を末永くお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。



更なる前進のために

校長 片桐 知己治



前任の黒坂道生が望洋高校の校長に異動したことに伴い、私が4月1日付けで新校長に就任いたしました。2010年の高輪会定期総会でお話させていただいたように、黒坂前校長が就任する前の半年間、杉元校長の学校法人東海大学常務理事就任を受けて、半年間本校の校長を務めましたので、今回の就任は二度目となります。

現在高輪会では、1991年から22年間続けてきました「学校5日制」を来年度から「学校完全6日制」に移行するため、カリキュラムや行事の見直しを続けています。「学習と部活動の両

立」を目標の一つとして掲げている本校では、ここ数年間で部活動の活躍にめざましい成長が見られました。全国大会金賞の常連校となった吹奏楽部を始め、サッカー部、ダンス部、柔道部、弓道部、陸上競技部、ソフトテニス部など、たくさんの部活動が全国大会に出場し、野球部、卓球部、剣道部、軽音楽部、スキー部などが関東大会で活躍しています。さらに、2007年に開校した中等部では、早くも陸上競技部、吹奏楽部が全国大会に駒を進めています。

ここで、目標のもう一つである学習面の充実を図るために、「学校完全6日制」を取り入れることによって基礎学力を定着させ、プレゼンテーション能力や、活きた英語能力の開発、思想を培う教育、文系理系の相互理解を目指した教育など、受験勉強にとらわれない、本当の学力を身に付けさせるための学習を充実させていきたいと思っています。

「最近の高輪会」

副校長 小林 潔



高輪会の皆様、いつもお世話になっております。本校は付属校の中でも長い歴史を持つ学校です。それゆえ、事あるごとに多くの方々とおめぐり合うことができます。人と人の出会いを大切に、学校発展のために努力して行きたいと考えています。

さて、本校における部活動も年々盛んになり、様々な結果が出ています。最近の本校の部活動の様子を知らせます。まず、高等学校では、ダンス部が3月に行われた全国大会の「USA Nationals in Japan 本大会」に出場しました。陸上競技部では八種競技で7月・8月に大分スポーツ公園大分銀行ドーム

で行われる「インターハイ」に出場します。その他、スキー部・剣道部・柔道部などの部活動が「関東大会」に出場しています。

一方中等部では、全校6クラスという小さな集団ですが、高校同様活発に活動しています。柔道部では、女子個人の部で7月に行われた「東京都中学校総合体育大会 柔道競技」に出場し第2位になりました。卓球部では男子ダブルスで6月に荒川スポーツセンターで行われた「都大会」に出場しています。

本校の特徴は、「まとまりの良さ=チームワークの良さ」に現れています。部活動や学習面にもこの良い伝統を受け継ぎ、充実した中等部および高等学校での生活を送って欲しいと考えています。「部活動と学習の両立」を目指し、今後とも本校を卒業された先輩方に、期待していただける学校になれるよう頑張りたいと思います。

歴史をつなぐ会

中等部教頭 中村 仁



高輪会役員の方々による役員会が定期的に行われています。これほど頻繁に、また活発な意見交換が行われている会は他の学校では見られないのではないでしょうか。

同窓会である高輪会の良さは、年齢を超えた大人のお付き合いができる時間を味わえることだと思います。在校生・卒業生のために何ができるか、どんなものを作れば喜ばれるか、少人数の役員会でもいろいろな意見が飛び交っています。また企画した内容を会員に伝えるのもなかなかたいへんです。それでも高輪会はずっと歩み進んでいます。会員の皆さんに活動や連絡が行き届くよう本校のHPでも卒業生のページが設けてあり、高輪会会則や会報・ニュースを掲載してあります。また、皆さんからの情報・ニュース、連絡などお待ちしておりますのでお気軽に声をかけてください。高輪会が皆さんの身近な存在になり、同窓生のくつろぎの場を提供できるよう我々教員も協力していきたいと思っています。年齢を重ねても高校時代の仲間とは縁が切れるはずがありません。何年ぶりに会ってもあの頃に戻って話ができるのが同窓生です。

高輪会の会員は年々増えていきます。高輪会が今後も永久的に良い活動ができることを願っています。

高校教頭 池田 信一



高輪会の皆様、はじめまして。

私、池田は今年度から本校に勤務となりました。これまでは、大阪の仰星高校と中等部で22年、渋谷区の望星高校で4年、千葉の浦安高校で3年と、三つの東海大学付属校に勤めて参りました。ちなみに、教科は国語科です。

学園の創設者は、「若き日に」に始まる四つの言葉で教育の指針を示しました。自分を振り返っても、人間性や価値観、つまり自分の原型といったものは、中学、高校、大学の「若き日」に形成されたように思います。その「若き」人たちの成長の現場に、常に向き合う仕事ができることを、たいへん幸せに感じています。

私にとって、今年は教職に就いて30年目という区切りのいい年です。高輪会という新たな環境で、教育に携わる者として一層の成長を目指したいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。



S26会H24年度同期会

10月下旬、S26会はメンバーの傘寿を祝って同期会を開催した。参加者は15名、志ん生がまくらにふる富山の薬売りほどでは無いだろうがゴルフ焼けも混じった一年ぶりの元気な顔が集まった。

昨年の同期会で「来年はわれわれも傘寿を迎える、少し豪華にやろうや」との声を受けて今年の同期会は、5月に開業した東京スカイツリーを眺めながら隅田川クルーズと浅草むぎとろでの宴会をセットにしたおみやげ付きプランを企画した。

日の出棧橋から浅草までの隅田川クルーズは約40分、船から眺める兩岸の景色は岸から川を行く船を見るのとは一味違った、小さな驚きを伴った新鮮なものであった。

また、勝鬨橋から吾妻橋まで隅田川に架かる特徴のある橋の全部が見られるのも興味深く、目当てのスカイツリーが、船が進むに従って岸辺の高速道路やビルの間から見え隠れし、少しずつ大きくなり浅草近くなると全容を現すのも一興であった。

宴会は「浅草むぎとろ」の懐石料理、浅草名物の駒形あげとろや長芋そうめん等々とろろ芋（長芋）の素材を生かした料理で、ほど良く酒もまわって話が弾み笑いが絶えずS26の同期会はいいなと思うひとときを過ごした。

送りに出た仲居さんの「みなさん、とても傘寿とは見えない

ですね」と言う言葉を素直に受けて雷門へ向かう。おみやげは雷門の脇にある常盤堂の雷おこし、来年の再会を約束して解散。

「今年の同期会は特によかった」との声もあり、天候に恵まれた理屈抜きの楽しい一日であった。

ところで、おみやげの雷おこしには後日談がある。数日後電話があって曰く「あの雷おこしはすばらしい！家内と一緒に食べたのだが、口に入れると軟らかくなって、とても食べやすくてうまい。歯の悪い老人向きだね。家内もよろしくと云っていたよ」という。その時の感じを記号で書くと!?!。人生7掛けの時代、傘寿と云われても実感はないがもしかしたら…とも思ってしまう罪つくりな電話ではあった。

(H24年11月 S26会幹事 上島・栗田 記)



東海電波三六会開催

昭和36年3月卒業の我々は「東海電波三六会」と称して今年も7月7日に新宿「銀座ライオン」に集いました。

我々も古希の代となり母校を巣立ってから早や62年、半世紀以上を過ぎたことになりました。お陰様で今年一年は訃報も聞かず皆、元気に日々を過ごしています。

当日は恩師である清水(旧:若宮)・小檜山・志村三先生を始め21名が集まりました。今回、都合が付かず参加出来なかった人、前は駄目だったが今回は参加できた人、皆さん忙しい中をやりくりして集まる事が出来ました。

話題の中心は何と言っても高校時代の想いで、実験レポートのきつかったこと、先生から怒られた話し等、今になれば恩師も笑いながら聞いている様子でした。

巣立ってからはバイクでアメリカ大陸を横断し今でもバイクをやっているかと思えば結婚も忘れダンス競技に心奪われ優

勝トロフイに囲まれ人生を謳歌している等々話題は尽きることなく進み、あっと云う間の2時間30分でおひらきとなりました。

同期会が終わったのは夕方、まだまだ飲み足りない連中はカラオケに行ったり二次会に行ったり相変わらずの連中ばかりでした。でも最後は「また会おうな!」の言葉で家路についたのでした。

「事務局 胡屋謙一郎」



2013(平成25)年高輪会入会式・新幹事歓迎昼食会

2013(平成25)年3月3日「第4回中等部・第64回高等学校卒業証書授与式」に先立ち、3月1日高輪台高等学校・中等部アリーナに於いて「高輪会入会式」が行われました。高輪会からは杉山副会長、宍倉副会長が出席し、宍倉副会長から卒業生に対し、同窓会への入会歓迎の言葉が述べられました。入会式後には各クラスから選ばれた新高輪会幹事10名の皆さんと中村教頭先生、高輪会の杉山、宍倉副会長が出席され、都ホテルに於いて歓迎食事が催されました。四川料理を囲んだ昼食会では所属の部活動、進学する学部、将来の夢、同窓会の印象などをひとりひとり語っていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。その後集合写真の撮影を行い閉会となりました。今年の新幹事の皆さんを紹介します。



- | | | | |
|----|--------|-----|-------|
| 1組 | 有田 泰介 | 2組 | 恩地 祥博 |
| 3組 | 千葉 大成 | 4組 | 倉崎 恋平 |
| 5組 | 石倉 賢一 | 6組 | 渡邊 大貴 |
| 7組 | 清水 孝紀 | 8組 | 奥津 暢紀 |
| 9組 | 吉田 真之佑 | 10組 | 足立 宏義 |

維持会費納入者一覧

◎高輪会維持会費納入のお願い

高輪会の会報・郵送・行事等、全ての活動は会員の皆様からいただいている維持会費と入会金とから成り立っています。一人でも多くの会員皆様から維持会費を納入頂くことで高輪会活動は活性化します。同封の郵便振替用紙にて維持会費をご納入いただきますよう改めてお願い致します次第でございます。なお、本日現在で維持会費を納入いただいている皆様は下表の通りであり、この誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

S23	高橋 強	28	S36	藤尾 智	19	S41	長井 信也	14	S53	長門 秀久	18	H06	平山 学	18
	別所 慶信	15		土方 啓司	37		高松 聡	17		沼沢 秀明	17	H09	青木 孝平	17
S25	初川 七郎	16		黒須 昇一	19		高島田直人	17		谷口 元	17	H10	清水 正芳	33
	井坂 暉夫	38		波多 俊吾	17		松岡 幹雄	17		野澤 秀治	14		太島日出男	14
	平塚 慶治	14		山崎 弘	19		大塚 静雄	14		志賀 重久	15	H11	村野 太郎	19
	木俣 重隆	17		横山 洋一	19		林 雄一郎	14		石田 秀男	15		村田 謙児	15
	中西 實	28		胡屋謙一郎	25	S42	瀧澤 吉友	23		大島 悟	15	H12	熊澤 文久	20
	木村 睦	16		新井 俊雄	14		片山 文夫	15	S54	三瓶 慎一	17		門田 祐輔	14
S26	早川 弘	18		名古屋一樹	14		安田 信義	14		小林 裕	17	H13	鶴岡 薫	15
	井出 健一	27		樋口紘一郎	14		後藤 有三	14		中村 則之	20		池田 文	14
	原 道明	15		森島 英男	15	S43	田中 力	17	S55	飯塚 正弘	19	H14	蛇川 俊彦	17
	栗田 富雄	14		屋代 光博	16		緑川 一郎	17		小池 英敏	18		渡辺美代子	14
	村田 達夫	14		菅澤 清孝	16		安田 二郎	16		新井 一仁	14	H16	小坪 央和	14
	中島 秀夫	22		原口 昌信	16	S44	宮坂 宗男	17		松宮 幸夫	24		宮武 綾香	14
	奥山 貞男	16	S37	池田 謙三	17		萩原 治生	17		小川 主	20		小田島崇光	14
	栢山 清生	17		上条 秀夫	15		谷井 明	22	S56	巴 誠一	24		武田 美帆	14
	鷹取 将夫	24		海老沢正昭	17		山口 勇雄	16		小野 朋昭	25	H18	竹中 和宏	16
	篠田 尚久	14		石塚 鵬	16	S45	本澤 守正	15		馬場 博規	17		倉持 隆	16
	加藤 慶男	18		大塚 昭	19		石黒 孝夫	17		笠原 健	15		山田 航平	16
	戸谷 謙次	21		小林 俊夫	15		大滝 富正	17	S57	大城 正人	17		大谷 彰宏	16
	木俣 博匡	19		大塚 雅一	15		三橋 興司	17		亀井 哲郎	22		横田 順平	16
	伊藤 勉	15	S38	間下 聿宰	14	S47	秋山 進	15		新保 孝司	18		小田 暁	16
	本田 達雄	17		北野 恒介	15	S48	千葉 守夫	21		庄野 栄一	16	H19	田中 惇	17
	間藤 禎三	17		飯岡 英彦	44		岡本 信一	15		佐藤 豪	19		長谷川瑠美	17
S27	伊藤 信雄	24		灰田 宗孝	27		守田 晃	16		采女 泰之	20		武田 千尋	17
	吉田 申一	14		山中 南雄	14	S49	店網 邦雄	18		森 公法	15	H20	猿谷 学	18
	田辺 英之	29		内田 輝雄	25		穴倉 修	18	S58	佐久間 励	23		畠山 啓太	18
	黒尾 忠行	16		西嶋 正春	19		佐々木博之	17		勝又 泰平	17		伊藤 等美	18
	田島 昇	19		儘田 健一	20		望蛇 匡輔	17		大谷 謙太	17		白石 隆平	18
	宮崎 真木雄	17		長谷川健美	15		菊池 秀雄	23	S59	伊東 孝之	17		小野瀬広大	18
	渡辺 鈞	18		町田 茂雄	21		小津 克己	14		東郷 康二	16		福井 真仁	18
S30	高橋 才二	15	S39	加藤 仁	14		高橋 忠夫	17		楠本 隆	21		山下 智子	18
S33	小林 道治	24		高橋 信房	16		中村 康弘	17		佐藤 義之	14	H21	大橋 一己	19
	千代田 栄	14	S40	杉山 守男	18		長塚 元孝	14		松崎 文彰	15		吉積 周史	19
	市川 京子	16		三浦 政彦	17		佐合 好正	15		泉谷 剛	14		佐藤 良介	19
	松原 健治	17		吉田 光雄	27		林 悦明	15		中村 直樹	17		黒田 容	19
S34	新井 信男	15		高橋 弘志	14		菊池 秀雄	23	S61	太嶋 久典	20		和田うらら	17
	梅沢 憲正	17		平野 泰宏	19	S50	国府田 進	17	S62	小島 圭市	17		板山 稜	19
	岸本 康弘	19		中島 洋介	14		小出 信行	24		嶋田 晃久	15	H22	似鳥 巧	20
	高岩 正	14		山岸喜久生	15		星 俊一郎	24		小柴 嘉之	17		渡部 元気	16
	星野 玉	18		丸田 惟久	18		岡本 吾朗	30	S63	木村 剛	14	H23	網中 利明	21
	橘 寿一	14		田所 秀雄	17		石川 茂樹	15		夏 錦言	17		小林 奈々	21
	横尾 紀憲	18		中村 道彦	14		清水 恒二	20		坂野 晴隆	17		佐藤勇太郎	21
S35	小島 邦男	15		細江 英一	14		鈴木 修	15	H01	会田 涉	14	H24	上原 武志	22
	佐藤 毅	24		石川 安夫	16		切替 良之	16	H02	清水 勇紀	17		石井絵里子	19
	今西佐恵記	15		渡邊 一男	16		大山 好孝	17	H03	伊藤 正樹	14		大村 光祐	22
	敦賀喜悦郎	19		武井 良友	16		松本 孝二	17		茂出木成幸	15		小原百梨杏	22
	澤 利雄	14		山本 敏一	16	S51	田中 健一	18	H03	春木 敏哉	15		大賀 有紀	18
	島村 政男	15	S41	吉野 正道	18		福山 茂秀	17	H04	野口 達也	16		京増 有香	18
	吹原 盛男	16		戸叶 幹男	16	S52	関 隆	17		久保木正則	17			
S35	遠藤 利夫	16		宮原 圭一	17		山下 晃	15	H05	岩崎勝一郎	42			
	稲川 信秀	17		初川進一郎	16		広村 直行	15		小林 健一	22			
S36	丸山 和信	16		久松 博	14		大頭 孝博	16	H06	北垣 博康	17			

2013年度活動報告

決算報告書

(2012年9月1日～2013年7月31日) 中間報告

(単位:円)

収支	合計	予算	金額	備考
前年度残高	4,287,358	4,287,358	4,287,358	入会金 @10,000×449名
1. 入会金	4,490,000	4,490,000	4,490,000	式典当日入金、振込分は年度
2. 維持会費	200,000	34,000	34,000	未にて算入
3. 懇親会費	700,000	413,000	413,000	式典参加費等
4. 学校援助金	0	0	0	
5. 積立金繰入	0	0	0	
6. 預金利息	300	236	236	預金利息
7. 雑収入	1,100,000	1,329,000	1,329,000	祝儀・広告料等
合計	6,490,300	6,266,236	6,266,236	
1. 会議費	300,000	260,990	260,990	役員会・会長会議費等
2. 広報費	30,000	0	0	
3. 渉外費	300,000	160,930	160,930	連合同窓会・他同窓会等
4. 印刷費	2,200,000	2,246,390	2,246,390	高輪会会報・高輪会史印刷費
5. 通信費	900,000	924,850	924,850	会報・高輪会史郵送・郵便代
6. 旅費交通費	400,000	405,629	405,629	役員会・連合同窓会・式典参加等
7. 事務用品費	50,000	11,745	11,745	封筒・名札等事務用品費
8. 懇親会費	1,100,000	1,098,850	1,098,850	式典懇親会等
9. 記念品費	500,000	412,860	412,860	卒業証書ホルダー・功労賞等
10. 補助費	50,000	0	0	
11. 慶弔費	50,000	20,000	20,000	会員慶弔費
12. 援助費	100,000	130,000	130,000	同期会援助他
13. 積立金	500,000	0	0	
14. 予備費	100,000	0	0	
15. 事務委託費	600,000	661,500	661,500	名簿管理・会合記録他
16. 雑費	20,000	1,220	1,220	手数料等
(仮払)	0	0	0	
合計	7,200,000	6,334,964	6,334,964	
今年度残高	3,577,658	4,218,630	4,218,630	
積立金				
前年度繰越金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
今年度繰出金	0	0	0	
今年度繰入金	500,000	0	0	
次年度繰越金	1,500,000	1,000,000	1,000,000	

学校・高輪会行事 (2013年9月～2014年3月)

2013年 9月 7日	第2回後援会委員総会
14日	第38回連合同窓会総会 (望星・高輪会幹事校) (～16日)
16日	高輪会会報Vol.17号発刊
17日	期末試験 (～20日)
10月 1日	後期始業式
4日	第12回中等部・高等学校合同体育祭
9日	第49回建学祭 (～13日)
19日	高輪会第7回定期総会
11月1日	建学記念式典
20日	一斉公開授業 (～21日)
31日	第3回後援会委員総会
12月3日	中間試験 (～6日)
28日	年末年始休暇 (～1/5)
2014年 1月22日	高等学校推薦入試
1月29日	中等部卒業試験 (～31日)
2月 1日	中等部第1回入試
2月 3日	中等部第2回入試
2月10日	高等学校一般入学試験
2月28日	高輪会入会式
3月 1日	第5回中等部、第65回高等学校卒業証書授与式
3月 6日	期末試験 (～11日)

お知らせ

□会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費1年分(2千円)～5年分(1万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用ください。

口座番号 00100-9-155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入ください。

尚、すでに納入済の節はご容赦ください。

□住所不明者の調査

会報が届かない方(住所不明者)等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡いただくか、下記HPで手続きをお願いします。

□ホームページ開設

高輪会のホームページが高輪台高校HP上に開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していこうと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

編集後記

昨年、高輪会創立60周年記念式典を開催しました。多くの会員の皆様、協賛企業様、学校関係者様、式典担当役員の皆様方のご支援、ご助力により開催できましたこと役員一同心から感謝するとともに、今後も変わらずのご支援、ご助力をお願い申し上げます。次年度から高輪会事務局分室の連絡先が変更になりますので下記案内をご確認ください。高輪会会報もVol.18号を無事発刊することになりました。ご多忙中にもかかわらず原稿執筆にご協力いただきました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。(宍)

同窓会連絡先

高輪会(東海大学附属高輪台高等学校同窓会)事務局

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16

TEL: 03-3448-4011・FAX: 03-3448-4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

高輪会事務局 宍倉建築設計舎内(東海大学附属高輪台高等学校同窓会 宍倉 修)

〒194-0013 東京都町田市原町田3-11-9-3階

TEL・FAX 042-728-6480

Email: oshishi@ace.ocn.ne.jp